

「そのとき、イエスはでしたちにいわれた」「たいようとつきとほしにしるしがあらわれる。ちじょうではうみがどよめきあれくるうので、しょこくのたみは、なすすべをしらず、ふあんにおちいる。ひとびとはこのせかいのなにがおきるかとおびえ、おそろしさにあまりきをうしなうだろう。てんたいがゆりうごかされるからである。そのとき、ひとのこがおおいなるちからとえいこうをおびてくもにのってくるのを、ひとびとはみる。このようなことがおこりはじめたら、みをおこしてあたまをあげなさい。あなたがたのかいほうのときがちかいからである。

ほうしゅうやふかざけやせいかつのわずらいで、こころがにぶくならないようにちゅういしなさい。さもないと、そのひがふいにわなのようにあなたがたをおそうことになる。その日は、ちのおもてのあらゆるところにすむひとびとすべてにおそいかかるからである。しかし、あなたがたは、おころうとしているこれら全てのことからのがれて、ひとのこのまえにたつことができるように、いつもめをさましていのりなさい。」

まいとしクリスマスがちかくなるとわくわくしたきもちになりませね、どうしてでしょうか、しょうじきにいうとそのひはケーキがでる、プレゼントをもらえるからではないでしょうか。しかしクリスマスのいみはまったくちがいます、みんながよくしているのですね。カトリックきょうかいではイエスさまのたんじょうをむかえるため、きょうからじゅんぴがはじまります。「たいこうせつ」「ラテンゴではアドベント」と言います。

じぶんのいえにだれかがくるときいたら、どうしますか。そのかたがよいきもちですごすためにいえをおそうじしてきれいになってからおむかえしますね。

きょうかいでは、イエスさまをむかえるためにきょうのちようびからクリスマスまでじゅんぴがはじまります。たいこうせつだい1のちようびからはじまりです。

きょうのふくいんしょに、このようなことばがかいてあって、わたしたちにそのすごしかたを教えてください。

「こころがにぶくならないように、きをつけなさい」

「いつもめをさましていのりなさい」

このことばはじぶんにとってどんないみがあるのでしょうか。いちにちじゅうじぶんがぼんやりとすごしているのかな。あるいはけいかくをたててそれにそってしっかりとやっているのでしょうか。じぶんのまわりになにがおこっているのでしょうか。ともだちがこまっていないのでしょうか。ひとからしてもらえるいろいろなしんせつを、うけるまえにじぶんからまわりのひとにしてあげられるのでしょうか。ひとからなにかをもらえたとき、あたりまえだとおもわないで、ありがとうといいましょうね。

じぶんからすすんでなにかしましょう、そうすると、イエスさまをむかえることができるでしょう。

一つのだくそくをかきましょうね。アドベント・カレンダーをきれいにぬっていきましょう。よいことをしましょう、しゅのいのりとアベ・マリアをわすれないでね。

やくそく

ぬいえ

